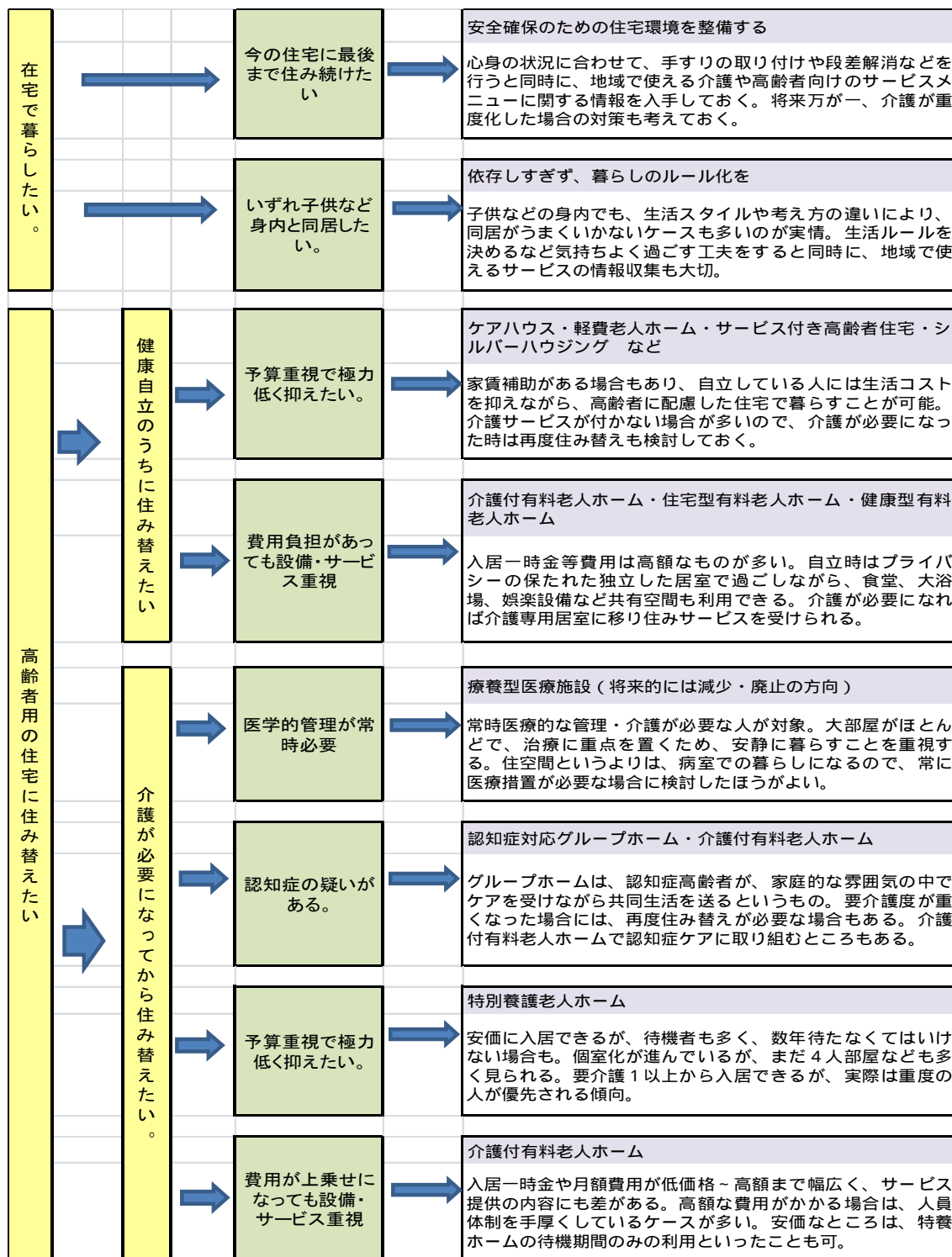


高齢期の住まい探しフロー図 ~あなたの考えを整理しましょう~



高齢者の住まいの概要

施設名	入居年齢	月額費用	月額費用に含む内容	介護が重度化したとき	介護保険	問い合わせ先
特別養護老人ホーム	原則65歳以上	約5万～15万円	居住費・食費・介護保険	居住可	施設サービス	区市町村福祉課・WAM-NETなど
老人保健施設	原則65歳以上	約6万～16万円	居住費・食費・介護保険	原則3ヶ月～半年入居	施設サービス	区市町村福祉課・WAM-NETなど
療養型医療施設	原則65歳以上	約7万～17万円	居住費・食費・介護保険	原則入院可	施設サービス	区市町村福祉課・WAM-NETなど
ケアハウス(一般型)	60歳以上	約7万～15万円	生活費・事務費・管理費	住み替え	居宅サービス	区市町村福祉課WAM-NETなど
ケアハウス(介護型)	65歳以上	約8万～18万円	生活費・事務費・管理費	原則居住可	特定施設サービス	区市町村福祉課・WAM-NETなど
シルバーハウジング	65歳以上	約1万～13万円	家賃・管理費	住み替え	居宅サービス	都道府県・区市町村住宅課、UR都市機構
軽費老人ホーム(A)	60歳以上	約6万～14万円	家賃・食費・事務費	住み替え	居宅サービス/特定施設サービス	区市町村福祉課など
軽費老人ホーム(B)	60歳以上	約0.5万～4.5万円	家賃・事務費	住み替え	居宅サービス/特定施設サービス	区市町村福祉課など
サービス付き高齢者住宅	原則60歳以上	約5万～15万円(ホームにより変わる。また一時金のある施設もある)	家賃・管理費	物件による	居宅サービス/特定施設サービス	都道府県・区市町村住宅課、(財)高齢者住宅財団ホームページ
介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)	概ね65歳以上	約20万～30万円(ホームにより変わる。また一時金のある施設もある)	家賃・食費・管理費	原則居住可	特定施設サービス	都道府県福祉課、WAM-NET、(社)有料老人ホーム協会など
介護付有料老人ホーム(外部サービス利用型特定施設入居者生活介護)	概ね65歳以上	約20万～30万円(ホームにより変わる。また一時金のある施設もある)	家賃・食費・管理費	原則居住可	特定施設サービス	都道府県福祉課、WAM-NET、(社)有料老人ホーム協会など
住宅型有料老人ホーム	概ね65歳以上	約20万～30万円(ホームにより変わる。また一時金のある施設もある)	家賃・食費・管理費	原則居住可	居宅サービス	都道府県福祉課、WAM-NET、(社)有料老人ホーム協会など
健康型有料老人ホーム	概ね65歳以上	約20万～30万円(ホームにより変わる。また一時金のある施設もある)	家賃・食費・管理費	住み替え		都道府県福祉課、WAM-NET、(社)有料老人ホーム協会など
認知症高齢者グループホーム	原則65歳以上	約12万～18万円	家賃・食費・管理費	ホームによる	認知症対応型共同生活介護	区市町村福祉課、WAM-NET、認知症高齢者グループホーム協会など

高齢者の住まいの概要

施設名	概要	入居時の身体条件		
		自立	要支	要介
特別養護老人ホーム	常時介護が必要な人に対し、生活全般にわたって介護サービスが提供される。待機者が多く入居まで時間がかかることも。個室、多床室などされる。待機者が多く入居まで時間がかかることも。個室、多床室など	×	×	○
老人保健施設	病院と自宅の中間施設で、病院で入院治療する必要はないが自宅での療養が困難な方が介護・看護・リハビリサービスを受けられる。	×	×	○
療養型医療施設	長期の療養が必要な場合、介護も含めてサービスが受けられる。将来的には減少の方向。	×	×	○
ケアハウス(一般型)	身の回りのことができる人の入居が基本。所得制限はなく、日常の基本的なサービス(食事・入浴等)を受けることができる。	○	△	△
ケアハウス(介護型)	「特定施設」の指定を受けているケアハウスで、要介護認定を受けると、ケアハウス事業者が提供する介護サービスが受けられる。	×	○	○
シルバーハウジング	住戸設備・仕様が高齢者向けに配慮された公的な賃貸住宅。生活援助員が安否確認や生活相談等に応じてくれる	○	△	△
軽費老人ホーム(A)	家族との同居が困難な高齢者のために、食事、入浴、緊急対応のサービスがついた住宅。低額な料金で利用できる。	○	△	△
軽費老人ホーム(B)	軽費老人ホーム(A)と同様だが、食事サービスはついておらず、自炊となる。	○	△	△
サービス付き高齢者向け住宅	バリアフリー対応の賃貸住宅で、生活相談員が常駐し、入居者の安否確認や様々な生活支援サービスを受けることができる。	○	○	△
介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)	介護等のサービスが付いた高齢者向けの居住施設。介護が必要となっても、当該有料老人ホームが提供する特定施設入居者生活介護を利用しながら当該有料老人ホームの居室で生活を継続することが可能です。(介護サービスは有料老人ホームの職員が提供。)	○	○	○
介護付有料老人ホーム(外部サービス利用型特定施設入居者生活介護)	介護等のサービスが付いた高齢者向けの居住施設です。介護が必要となっても、当該有料老人ホームが提供する特定施設入居者生活介護を利用しながら当該有料老人ホームの居室で生活を継続することが可能。(有料老人ホームの職員が安否確認や計画作成等を実施し、介護サービスは委託先の介護サービス事業所が提供。)	○	○	○
住宅型有料老人ホーム	生活支援等のサービスが付いた高齢者向けの居住施設。介護が必要となった場合、入居者自身の選択により、地域の訪問介護等の介護サービスを利用しながら当該有料老人ホームの居室での生活を継続することが可能。	○	○	○
健康型有料老人ホーム	食事等のサービスが付いた高齢者向けの居住施設です。介護が必要となった場合には、契約を解除し退去しなければならない。	○	△	×
認知症高齢者グループホーム	軽度～中度の認知症で要支援2以上の人が対象。少人数(基本は9人単位)で家庭的な共同生活を送りながら、認知症の進行を遅らせる。	×	△	○

以上